

愛知芸術文化センター



愛知芸術文化センター(栄施設)

愛知芸術文化センターは、将来に向けた多様な芸術文化活動を推進する一大拠点であり、全国にも例の少ない総合文化施設です。同センターは、平成4年10月に栄地区にオープンした愛知県美術館、愛知県芸術劇場、愛知県文化情報センターと、平成3年4月に名城地区にオープンした愛知県図書館の4つの部門で構成され、それぞれの部門が創意と工夫を凝らし事業を遂行するとともに、複合施設としての特性を活かし、相互に連携を図り、芸術文化活動を展開しています。

〈栄施設の概要〉

施設	県美術館/展示室8室、ギャラリー10室、収蔵点数7,695点(H25.1.1現在) 県芸術劇場/大ホール2500席、コンサートホール1800席、小ホール282席、リハーサル室 県文化情報センター/アートプラザ、アートライブラリー、アートスペース
規模	地上12階、地下5階、高さ58m
敷地面積	18,173m ²
延床面積	110,527m ²

愛知県陶磁美術館

(平成25年6月より愛知県陶磁資料館から名称変更予定)



愛知県陶磁美術館本館

愛知県陶磁美術館は、陶磁史上において果たしてきた愛知の重要な役割を踏まえ、県政100年記念事業として、昭和53年6月にやきものの町、瀬戸市の緑濃い丘陵地の一角に建設されました。同館では、歴史的・美術的・産業的に貴重な陶磁資料の保存を図るとともに、陶磁器及び陶磁器に関する資料の収集、保存、展示及び調査研究並びに県民に陶芸教室及び陶芸展示室の利用・提供を行っています。

〈施設の概要〉

施設	本館、南館、西館、陶芸館、古窯館等
収蔵点数	6,068点(H25.1.1現在)
敷地面積	277,375m ²
延床面積	20,968m ²

愛知県立芸術大学



愛知県立芸術大学講義棟

愛知県立芸術大学は、愛知県を中心とする中部地方の産業経済が著しい躍進を遂げているのに対応して、東西の中間に特色ある文化圏を築き、地方文化の向上発展に寄与することを目的に昭和41年4月に開学し、さらに、芸術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与することを目的に昭和45年4月大学院修士課程を開設、また、平成21年4月には大学院博士後期課程を開設しています。

〈学部・学科・研究科〉

美術学部	美術科(日本画、油画、彫刻、芸術学)、デザイン・工芸科(デザイン、陶磁)
音楽学部	音楽科(作曲、声楽、器楽)
大学院	美術研究科、音楽研究科
学生数	学部:809人 大学院:194人(H24.5.1現在)